

2026 年 8 月 20(木)午前 9 時から CRT スタジオで収録

「グローバル化時代」に備え、「高校世界史」は、『日英対訳、詳説世界史』山川出版社

2026年7月30日刊をテキストに、毎日、勉強しよう！

○留学希望者、大学生、社会人も、『日英対訳詳説世界史』で、世界史の学び直しを！

開倫塾

塾長 林明夫

Q：高校世界史の教科書として高い評価を受けている「詳説世界史」の本文と英訳を掲載する「日英対訳、詳説世界史」が(上)(下)の2巻に分けられ、文字の大きい、B5版で、山川出版から2026年7月30日に刊行されたようですね。

A：(1)はい。7年前の2019年に出版された、山川の高校教科書「詳説世界史」の英訳版、「英文、詳説世界史(World History for High School)」大好評で、累計10万部を超えたそうです。

(2)日本語版と英文版を絶えず参照する読者が多かったと思われますので、今回の「対訳版」は、「満を持しての出版」「朗報」といえます。

(3)この出版は、世界史を学ぶ高校生が、世界史と同時に、「英語」を学ぶ機会を与えられただけでなく、外国で働き、学び、生活をする皆様や、外国出身の皆様と接するすべての皆様にとり、「朗報」と考えます。

Q：なぜですか。

A：(1)外国で働き、学び、生活するには、また、日本国内で外国出身の皆様と接するには、日本の文化、伝統、歴史と同時に、世界の歴史の基礎知識が欠かせないからです。コミュニケーションの相手が、日本語を理解しない場合には、「世界史について英語でコミュニケーション」をすることが求められるからです。

(2)特に、高度人材として外国で働く場合や、外国の高等教育機関で学ぶ場合には、英語でその国の歴史や世界史の基礎知識を持っていることが、求められます。

(3)日本語で世界史を学んでいても、世界史の英語による基礎知識がなければ、相手にされないことが、多々あるからです。

Q：どのように「日英対訳詳説世界史」を学んだらよいのでしょうか。

A：(1)1ページから最後のページまで、こつこつと、学ぶのも一手。ご自分の一番興味、ご関心がある時代や項目から、学ぶのも一手。

(2)「ルーズリーフ」の「ノート」で「サブノート」を作ることをおすすめします。

○「サブノート」には、「重要項目」「重要語句」、日本語と英語を書き写すだけ

(3)①各ページ、ワンパラグラフずつ、日本語を、ゆっくり考えながら、「音読」。

②日本語で「音読」したパラグラフの「英語」を、ゆっくり、大きな声で、「音読」。

○読み方や、意味の分からない語句は、辞書を用いて調べる。辞書を用いて調べた語句は、

「サブノート」に「語句」「発音記号」「意味」を書き写す。

③そのパラグラフの「重要語句」は、「サブノート」に、「日本語」「英語」を書き写す。

(4)①1つの「パラグラフ」を学び終えたら、「すらすらよく読めるようになるまで」「英文の音読練習」を繰り返す。

②あまり書けなさそうな語句は、正確に書けるようになるまで、書き取り練習。

③ここまで終えたら、次の「パラグラフ」に挑戦。

(5)その日の最後に、その日に学んだ、すべての「パラグラフ」を、ゆっくり「音読練習」。

その日にノートに書き写した、すべての内容を、「音読練習」。知識を定着させる。

(6)焦る必要はありません。人生は長いですから、ゆっくり、落ち着いて、興味のある時代や項目から、手を付けてください。

Q：新しい時代や、内容に入る前に、おすすめしたいことがありますか。

A：はい、一つだけあります。

(1)それは、それまで学んだページの、一つひとつのパラグラフごとに、「日本語の本文」と、それに対応する「英語の本文」を、大きな声を出して、ゆっくり「音読練習」なさることです。

(2)テキストを学ぶたびに、それまで学んだページの各パラグラフの「日本語の本文」とそれに対応する「英語の本文」を、パラグラフごとに、大きな声でゆっくり音読すると、少しずつですが、「記憶の混成」が残ります。

(3)「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ようになります。

Q：「世界史のテキスト」を学ぶときに役に立つ道具(武器)は何ですか。

A：3つあります。

(1)その第一は、「世界史年表」です。(岩波書店版がおすすめです)

(2)その第二は、「世界史歴史地図帳」です。(山川版がおすすめです)

(3)その第三は、「世界史用語集」です。(山川版がおすすめです)

○この3つは、世界史を学ぶときの大事な「道具」、「武士の刀」と同じです。十分に慣れ親しみ、ご自分のものとして、使いこなしてください。一生、お役に立ちます。

Q：「日英対訳詳細世界史(上)(下)」山川出版は、英語の習得に役立ちますか。トップ校や難関校の大学受験に役立ちますか、大学院受験に役立ちますか。

A：役立ちすぎるくらい役立ちます。

(1)1ページ10～20回辞書で語句の意味や発音を調べるとして、英文ページは、400ページ以上ありますから、本文をスラスラ読めるようになるまで、繰り返し音読、一度調べた語句を、繰り返し学び直すなど、きちんと勉強すれば、4000～8000語、1万語近くの語彙を身に着けることができます。

(2)英検準1級、大学共通入試や、難関大学独自試験にも耐えうる英語力が身に付きます。

(3)外国の大学に留学の前には、世界史同様、他の教科を英語で学ぶことをおすすめします。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)山川出版は、高校教科書「詳説日本史」の英語版「英文詳説日本史」も出版し好評を博しています。まだ対訳版は出ていませんが、日本語教科書と合わせ学ぶことで、大きな学習効

果を生み出すことができます。山川「日英対訳詳説日本史版」の出版が望まれます。

- (2)学習塾や私立学校用の学習教材最大手の教育開発は、10数年前に「新中学数学問題 集(1～3年用)」に完全準拠した「英文版」を出版、大きな反響を呼びました。
- (3)国際化が進む中、評価の極めて高い、山川・高校世界史、山川・高校日本史、教育開発・新中学数学問題集などの、優れたテキストで学ぶ中学生、高校生、大学生、社会人が増えれば増えるほど、日本の未来は明るくなると確信します。
- (4)少しずつでもいいですから、日本語で学んでいる教科を、英語や、その他の言語でも学んでみることを、おすすめいたします。
- (5)まずは、現物を入手し、ご自分で挑戦。よかったら、皆様にも、ご紹介くださいね。

林明夫 2026年8月16日記